

理想的なワクチンには、全身系および粘膜面の双方において強い液性免疫・細胞性免疫応答を誘導可能であることが求められるが、一般的なワクチンでは全身系液性免疫しか誘導できない。本研究では、我々が見出した粘膜面細胞性免疫誘導メカニズムに基づく、新規ワクチンの開発を目指す。現在、新型コロナウイルスワクチンにおいて中和抗体に加えて細胞性免疫を誘導する必要性が唱えられていることから、本研究が新型コロナウイルスの根絶に向けた有用なワクチンとなることが期待される。